

# 平成29年度 AIA国際活動助成金交付事業報告

2018.3.30現在

平成29年度AIA国際活動助成金交付の事業報告をします。

1期募集で3団体、2期募集では6団体、3期募集で1団体、合計10団体がAIA国際活動助成金の交付を受け事業を実施しました。

今年は国際交流事業を長年継続している団体の周年記念事業が3団体あり、また大学生による新たな取り組みもあり幅の広い活動を支援することで、地域の活性化が実現され多文化共生の推進となりました。

今後とも、秋田県の国際化、および多文化共生推進活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## ※ご覧ください※

ホームページ

URL: [www.aiahome.or.jp](http://www.aiahome.or.jp)

facebook



## 公益財団法人 秋田県国際交流協会 Akita International Association(AIA)

〒010-0001

秋田市中通2-3-8 アトリオン1F

TEL: 018-893-5499

FAX: 018-825-2566

E-mail: [aia@home.or.jp](mailto:aia@home.or.jp)

団体名	事業名	交付金額	事業概要
Vitality for Taking Action (V-ACT)	秋田国際協力団体合同イベント～国際協力がて何だ?～	15,000	大学生が発展途上国に足を運び熱意を持って取り組んできたこと、感じたことを秋田で伝えることで支援の輪が広がり、途上国支援について考えを共有し、国際協力への理解を深めることを目的とする。第1部で4団体の活動報告会、第2部では国際協力団体によるブース出展により参加者及び各団体間の懇親を深める。
秋田ユネスコ協会	外国人による日本語スピーチ・コンテスト&世界の文化に触れてみよう	80,000	多文化共生社会構築の糸口として、世界の国々を身近に感じていただく国際理解の意見発表の場、違いを知り、違いを楽しみ、あらたな視点を与えてくれる機会と外国人が自己を語れる場を作る。Ⅰ部は日本語スピーチ・コンテスト、Ⅱ部は全員参加のワークショップとして、青年海外協力隊員の体験談を聞き、面白い文化を出し合い異文化体験をしてみる。
秋田県日中友好協会	日中国交正常化45周年・秋田県日中友好協会65周年記念講演会	80,000	今年度、日中国交正常化45周年・秋田県日中友好協会設立65周年につき、記念事業を実施し友好交流に寄与する。中国大使として初の民間人であった(公社)日中友好協会の丹羽宇一郎会長を講師に招き、現在の日中関係や今後における民間交流の在り方について講演してもらう。

# AIA国際活動助成金交付事業一覧

2018.3.30現在

団体名	事業名	交付金額	事業概要
公益社団法人 由利本荘青年会議所	韓国梁山青年会議所 訪問団 来荘事業	80,000	両国の児童絵画コンテストで上位に入賞した児童を相互にホームステイにより交流を行う。また、韓国梁山の訪問団歓迎レセプションと由利本荘市・にかほ市でスポーツおよび文化交流を実施し、児童たちが異文化を学び体験し、国際的な友情を育むことで国際的視野を養う場を作り、国際感覚豊かな人材の育成を目指す。
鹿角国際交流協会	鹿角国際交流協会30 周年記念 交流会	80,000	協会の事業として、国際交流を通じて国際社会に対する意識や相互の理解を高め、国際社会に対応しうる人づくり及び地域づくりに貢献する目的にて開催する。過去に協会事業に関わった人々に記念式典・交流会へ参加してもらうことで、人的つながりを広げる環境づくりと、通訳バンクへの登録を促進し、これからの活動のあり方についても広く意見を集める。
秋田大学医学部公認課 外活動団体IFMSAKT	アフリカ写真展 ー地球の裏側をリアルに届けるー	80,000	アフリカを危険な土地と認識している人が多くいる。しかし、そこには広大な土地で生きる人々が生み出した自然と調和した文化がある。秋田大学にいるアフリカからの留学生と共にアフリカの写真を展示し交流会を行う。来場者の方に、アフリカの生活を知ること幅広い視野を獲得し、生き方を再考するような空間を届けることを目指す。
山友会	山田地区盆踊り大会	80,000	里山の環境保全をはかるために、地域住民と秋田の大学生・留学生が交流を行い、活動の広報を行う。潟上市山田地区の盆踊り大会への参加を通して、留学生に農村の行事と生活を体験してもらうと同時に、農村を取り巻く里山保全の重要性を意識してもらい、日本の自然環境と結びついた農村の在り方を理解してもらう。
小坂町国際交流協会	設立25周年記念事業 (式典・講演・祝賀会・壁面メンテナンス)	70,000	設立25周年を迎えるにあたり、国際交流の橋渡しとなる協会としての在り方が課題となってきた。25周年式典でこれまでの活動団体に感謝状を贈呈するとともに、中高生(7名)によるCIR出身国訪問団の体験報告会を実施し、また国際教養大学教授による国際交流についての講演を行い、町民の異文化理解と国際交流に関する意識啓発を図る。
あきたロシア音楽祭実行委員会	第18回あきたロシア音楽祭～珠玉のロシア名曲を～	80,000	優れた若手の演奏家に演奏の場を提供すること、優れたロシア音楽の啓蒙することを目的として、実力ある5人のソリストがロシア音楽を演奏する。この音楽祭を開催することで幅広く多くの県民がロシア文化、ロシア音楽を知る機会となり、異文化理解につながる活動になる。
日本ベラルーシ友好協会	東日本大震災から7年「いかに災害を克服するか」講演会	41,000	2011年3月11日の福島原発事故が起きて放射能による健康被害はベラルーシと日本の共有の問題となりました。32年前でベラルーシが経験した事故に学び、放射能被ばくについての知識を高める機会とするもの。併せて福島での事故をどのようにしてサポートすることができるのかを考えるきっかけとする。

